

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 28日

事業所名放課後等デイサービス事業所きらり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・活動メニューやグループを分けて活動する	・個室を使う時間をスケジュールを使って管理する ・車いすの子供たちがいるときは、メニューを工夫する
	2 職員の配置数は適切である	○			・特性に配慮して配置しています
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	・活動場所を分ける	・段差や高さなど、利用者に応じた安全性の確認をしていきます
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		・非常勤職員が参加出来るようにミーティングの時間を工夫していきます
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・年1回保護者会を行い、アンケートの結果を踏まえた説明をするようにしています。今後は、保護者のニーズに答えていけるように努力したいと思います
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・年度末に事業所のホームページに掲載しています
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・まだ実施されていません。今後実施出来るように準備していきます
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・事業所内研修、講演会の実施、その他外部の研修に各自で参加するようにしている	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			・保護者と面談をしたり、関係機関と連携しながら個別支援計画を作成していきます
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		・評価の勉強会を事業所で行い、アセスメントツールが活用できるようにしていきます
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・活動記録から固定化しないよう工夫していきます
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・グループ分けの工夫	・保護者や関係機関から情報を収集し、職員で話し合いながら課題を設定していきます
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			・1人1人の状況把握に努め、子供に合った計画を作成できるようにしていきます
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・活動予定表を使いながら打ち合わせが出来るようにしている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			・振り返りを行う時間を設け、みんなで共有し、次の支援につなげられるようにしていきます
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・記録の取り方が様々なので、今後記録の取り方について話し合っていきたいと思います
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・保護者や関係機関とコミュニケーションを取り、必要性の判断が出来るように努力していきます
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・学校とは送迎時に担任の先生と情報交換したり、電話で連絡を取ったりしています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・現在医療的ケア児の利用がありません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			・今年度より引継ぎ会議への出席が出来るようになりました
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・同じ法人のセンターより研修案内をしてもらっている	・研修には各自が積極的に参加しています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			・活動場所を地域の公園や小学校にすることで、関われる機会が増えるようにしています
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・送迎時には保護者へ様子を伝えるようにしています
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			・保護者対象の勉強会や講演会、座談会等を行うようになっています
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・契約時、面談の時に説明を行っています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・関係機関と連携しやすい環境作り ・研修へのご案内	・面談のときや、送迎時に話が出来るように心がけています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・茶話会の開催	・保護者の連携が作れるような企画を考えていきたいと思っています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・きりり便りの発行	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・絵カード、文字カードなど本児にわかりやすい形の支援をしています。保護者の方には、メール等でも伝えるようにしています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		○		・現在は行事が行えてないです

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・契約時や保護者会等で説明をし、周知出来るように努力していきます。職員にもミーティング等で周知出来るようにしていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・事前の学習 ・視覚的な手順書	・年に2回避難訓練を実施しています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・チェックリストの活用	・振り返りの時などに話しやすい環境にしています。研修への参加も行っていきます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハットの事例があった場合には、会議で検証し、対応を見直すようにしています